(様式２)

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号 |  |

**令和７年度　フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金**

**補助事業者　提案書**

|  |
| --- |
| 1. **補助事業の概要**
 |
| **１－１．事業の概要** |
| 事業名 | ※ご提案いただく補助事業(以下、本事業)の内容を端的に表した事業名を設定して下さい。事業名は公募結果の公表時に公表されます。 |
| 応募代表団体名 |  |
| 事業で取り扱う女性特有の健康課題のテーマ | テーマ | 主なテーマ（１つにチェック） | 副次的なテーマ（複数チェック可） |
|  | 月経・PMS |[ ] [ ]
|  | 妊娠・不妊 |[ ] [ ]
|  | 産後ケア |[ ] [ ]
|  | 更年期 |[ ] [ ]
|  | 婦人科疾患 |[ ] [ ]
|  | ヘルスリテラシー |[ ] [ ]
|  | その他 | [ ] (テーマを記載して下さい) | [ ] (テーマを記載して下さい) |
| **２．補助事業の詳細** |
| **２－１．創造性** |
| **２－１－１．独自性・新規性** |
| 本事業の独自性・新規性（400字程度） | ※本事業におけるアピールポイントを明確に記載して下さい。※その際、既存のフェムテック等製品・サービスと比較して、本事業の新規性・独自性(事業テーマ、実施内容、ユーザー、成果測定の方法等)がどの点にあるか、説明して下さい。※なお、比較対象とした既存のフェムテック等製品・サービスがある場合は、その事業名を明記して下さい。 |
| **２－２．実行性** |
| **２－２－１．課題設定** |
| 事業設計の背景※300字程度 | ※本事業を通じて、解決を目指す課題を設定し、その課題を設定した背景について簡潔に記載して下さい。※データ等を引用する場合は、出典を明記して下さい(以降の設問でも同様)。引用出典に関する文字数は、字数制限にカウント不要です。 |
| 事業目的※500字程度 | ※本事業の実施により、どのような個人・組織・社会等の変容を目指すのか、実証の目的について簡潔に記載して下さい。※その際、公募要領の「Ⅰ．事業概要 1．背景・目的」を踏まえ、本事業での実施内容が働く女性のウェルビーイング向上の実現、女性のライフイベントとキャリアの両立等にどのように貢献し得るのかについても必ず記載して下さい。 |
| **２－２－２．事業設計** |
| 実証目標※500字程度（ロジックモデルの図表内文字数を除く） | ※本事業で設定した課題の解決や実証の目的の達成に向け、どのような目標を設定するのか、定性的、定量的に記載して下さい。　※事業目標は、下記３段階に分けて記載してください。本記載を公募要領の審査基準で設定している「ロジックモデル」とみなします。適宜ロジックモデルの図等を用いてご説明下さい。①事業終了後、最終的に目指す目標(※実証**終了後**の長期アウトカムに該当するもの。時点は各自設定下さい)②事業終了後の中期目標(※実証**終了後**の中期アウトカムに該当するもの、令和６～８年度時点)③事業終了時の目標(※実証**終了時点**のアウトプット～初期アウトカムに該当するもの、令和６年度末時点) ※その際、公募要領の「２．本事業の内容 (３)成果測定の実施①」に示されたWHO-HPQのスコアを短期→中期→最終でどのように増加させていくことを目指すかについても、併せて明記して下さい。(例：スコアが増加したユーザーユーザーの割合○％、サービス利用前後でのスコア増加率○％、など) |
| 実施内容概要 | **実施事項(大項目)** | **実施事項(小項目)** | **実施事項概要** |
|  | １．企業向けXXセミナーの開催 | １.１　セミナー設計 | ○○に関するセミナー開催に向け、××、△△を実施 |
|  |  | １.２　セミナーの実施 | XX |
|  |  | １．３　成果測定 | XX |
|  | ２．住民向けXXセミナー開催 | ２．１　XX | XX |
|  | ３．個人向けXXサービス提供 | ３．１　XX | XX |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 計画詳細 | 実施事項大項目１ | 項目 | 計画内容 |
|  |  | サービス導入者 | 例）株式会社ANPO法人B |
|  |  | ユーザー | 例）・従業員(男女問わず)・管理職 |
|  |  | 定量的指標(KPI) | 例）・ヘルスリテラシーが向上した参加者の割合・上長とライフイベントを見据えたキャリア形成のプランについて話し合った参加者の割合 |
|  |  | 計画値 | 小項目１ | 例）・導入企業数：5社・実施回数：計10回(2回×5社)・参加者数：計500名 |
|  |  |  | 小項目２ |  |
|  |  |  | 小項目３ |  |
|  |  |  | 小項目４ |  |
|  |  | KPI・計画値の妥当性の考え方（300字程度） | ※期間、人数、測定項目などが妥当と考える根拠を記載（例：参考にした論文や事例、データサイエンス的検討結果） |
|  |  | 実施内容・方法（600字程度） | ※具体的な実施内容、方法について記載してください。※その際、実施内容の創意工夫や実現可能性の担保状況についても説明してください。 |
|  | 実施事項大項目２ | 項目 | 計画内容 |
|  |  | サービス導入者 | 例）株式会社ANPO法人B |
|  |  | ユーザー | 例）・従業員(男女問わず)・管理職 |
|  |  | 定量的指標(KPI) | 例）・ヘルスリテラシーが向上した参加者の割合・上長とライフイベントを見据えたキャリア形成のプランについて話し合った参加者の割合 |
|  |  | 計画値 | 小項目１ | 例）・導入企業数：5社・実施回数：計10回(2回×5社)・参加者数：計500名 |
|  |  |  | 小項目２ |  |
|  |  |  | 小項目３ |  |
|  |  |  | 小項目４ |  |
|  |  | KPI・計画値の妥当性の考え方（300字程度） | ※期間、人数、測定項目などが妥当と考える根拠を記載（例：参考にした論文や事例、データサイエンス的検討結果） |
|  |  | 実施内容・方法（600字程度） | ※具体的な実施内容、方法について記載してください。※その際、実施内容の創意工夫や実現可能性の担保状況についても説明してください。 |
| 専門的知見等（300文字程度） | ※実証の内容（技術や介入方法）の設定にあたり、専門的知見等（学術的な裏付け、アカデミアの関与、専門家の助言等）を得ているかを記載してください。得ている場合は、対象者の設計（実証者数・属性）の設計にあたり、専門的知見等（学術的な裏付け、アカデミアの関与、専門家の助言等）を得ているか、具体的な内容を記載してください。 |
| 活用するフェムテック等サポートサービス（１サ―ビスにつき、300字程度） | ※本事業で活用するフェムテック等サポートサービスの製品・サービスの内容について具体的に説明して下さい。パンフレット等の説明資料がある場合には併せて提示して下さい。 |
| **２－２－３．成果指標** |
| 成果指標 | 指標 | ※上記「事業の目標」で記載した、本事業の中期目標～最終目標の達成状況を適切に評価するための具体的な成果指標を設定して下さい。※公募要領の「２．事業内容 ２．本事業の内容　(３)成果測定の実施」に記載のある共通指標を必ず組み込んで記載して下さい。提案時点では、共通指標①( WHO Health and Work Performance Questionnaireの設問B9-11)のみで構いません。 |
|  | 設定の考え方 | 設定根拠とした、学術的な裏付けの内容（300字程度） | ※論文等の情報を記載してください。　先行研究等で活用されている指標を使用する場合は、その出典を示して下さい。 |
|  |  | 設定にあたり、アカデミアの関与、専門家の助言等 | （ある/ない） |
|  |  | 上記で（ある）と回答した場合、具体的な内容（300字程度） | ※（ない）と回答した場合、記載は不要です。 |
|  |  | 考え方（300字程度） | ※事業の成果を測る上で、設定した指標の妥当性や狙い等を記載してください。※上記学術的な裏付けand/orアカデミアの関与、専門家の助言等がどうこの考え方に反映されているかも分かるよう記載してください。 |
| **２－２－４．実施体制** |
| 実施体制図 | ※本事業の実施体制図を下記の図を参考に作成して下さい。※実証先となる団体（参加団体もしくは協力団体）については、団体名の後に（実証先）と明記してください。※また、調整中のコンソーシアムの参加団体、協力団体、業務委託・外注先がある場合は、その旨が分かるように団体・組織名の後に(未確定)と記載して下さい。 |
| 各団体・組織の役割・体制 | 分類 | ステータス | 団体・組織名 | 大企業該当 | 役割 |
|  | 例）代表団体 | 確定 | 株式会社●● | ○ | 事業全体の企画、進捗管理、サービス提供、成果測定 |
|  | 例）参加団体 | 確定 | 株式会社△△ | ― | 成果測定補助 |
|  | 例）参加団体 | 確定 | NPO法人○○ | ― | セミナー講師登壇 |
|  | 例）協力団体 | 未確定 | 株式会社XX | ― | 個人向けサービスユーザーユーザー募集補助 |
|  | 例）協力団体 | 確定 | C市 | ― | 実証先として実証フィールドの提供 |
|  | 例）協力団体 | 確定 | D町 | ― | 実証先として実証フィールドの提供 |
|  | 例）協力団体 | 未確定 | E村 | ― | 実証先として実証フィールドの提供 |
|  | 例）業務委託・外注先 | 確定 | 株式会社■■ | ○ | アプリ開発 |
|  | 例）業務委託・外注先 | 確定 | 株式会社＊＊ | ― | 印刷 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  | 委託・外注先に「大企業等」を含む場合の業務範囲（300字程度） | ※代表団体が公募要領記載の定義のうち「中小企業等」であり、委託・外注先に「大企業等」を含む場合、委託・外注先の大企業の業務範囲を記載してください。（上記記載例では分類が委託・外注先であり、大企業に該当する「株式会社■■」が該当するため、同社の業務範囲を記載してください。）※参加団体としてコンソーシアムに加わる必要のある事業の根幹にかかわる業務は実施せず、技術的業務等のみが実施可能範囲となります。※該当しない場合は、本項目の記載は不要です。 |
| 実証フィールド（実証先）の確保状況 | 団体・組織名 | 確保確度 | （１）実証参加予定者への呼びかけ方法、（２）調整がつかなかった際のバックアッププラン |
|  | 例）株式会社●● | ②担当者の内諾済 | 人事課を通じて男女区分なく、一斉メールで呼びかけ |
|  | 例）株式会社△△ | ③団体・組織の意思決定権者から内諾済 | 社内ポータルに募集情報を掲載 |
|  | 例）NPO法人○○ | ④意思決定者の内諾に加え、実際に実証参加予定ユーザーユーザーから内諾済み | 該当可能性のある会員（社員）に個別に声がけ |
|  | 例）株式会社XX | ②担当者の内諾済 | 未定 |
|  | 例）C市 | ①（未確定）で調整中 | 未定 |
|  | 例）D町 | ①（未確定）で調整中 | 未定 |
|  | 例）E村 | ①（未確定）で調整中 | 未定 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 事業従事者のプロフィール | 総括事業代表者 | 氏名：プロフィール(所属、役職、経歴等)： |
|  | 副総括事業代表者 |  |
|  | 事務管理責任者 |  |
|  | その他従事者 |  |
|  | その他従事者 |  |
|  | その他従事者 |  |
| **２－２－５．スケジュール** |
| ※本事業の実施スケジュールを下記の図を参考に、２－２. 事業の実施内容の詳細「実施内容」の表内「実施事項」ごとに、月別に作成して下さい。※実証参加者の参加スケジュールが分かりやすくなるよう心がけてください。 |
| 事業実績 | 類似実績 | ※申請者が類似事業の実績を有する場合は、事業名、事業概要、実施年度、発注者等を簡潔に記載して下さい。 |
|  | 本補助事業実績 | 採択年度：採択事業名：採択時参加メンバー（団体）：※令和３年度～令和６年度フェムテック等サポートサービス実証事業補助金の事業実績は、加点対象とはなりませんが、コンソーシアムに過去採択事業団体が含まれている場合は、参考情報として、団体名と採択年度を記載して下さい。 |
| **２－２－６．期待される効果** |
| 製品・サービスを利用することで、働く女性に対してどのような効果が期待されるか（300字程度） | ※働く女性の就労継続や仕事・家庭・育児等の両立にどう資するのか等について記載してください。 |
| 期待される効果に対して、活用するフェムテック等製品・サービスの技術的要素や、関連する知見等がどのように働くか。（300字程度） | ※コンソーシアムメンバー（代表団体、参加団体）が有する技術や知見が、フェムテック等製品・サービスにどう活かされているか、実証にどのように効果を発揮すると期待されるか等を記載してください。 |
| **２－３．安全性** |
| **２－３－１．情報取扱** |
| 情報取り扱い方法（300字程度） | ※本事業で得た成果や個人情報等を守るために、安全管理の体制をどのように整えるか記載して下さい。 |
| 事業協力者に不利益が生じないような配慮方法・内容（300字程度） |  |
| **２－３－２．サービスの質** |
| 提供製品・サービスの開発・提供段階で医療関係者等の監修を受けているか | 　（はい・いいえ） |
| 医療関係者等の監修状況（300字程度） | 上記で（はい）の場合➡誰が、どのように監修を実施したか、その結果どのように安全性が担保されているのか詳細を記載して下さい。上記で（いいえ）の場合➡その理由と、製品・サービスの安全性を担保する方策について記載して下さい。 |
| **２－３－３．相談・リスク対応体制** |
| 相談体制（300字程度） | ※本事業の実施において、（すでに上市している／直前段階の場合、製品・サービス提供時においても）ユーザーからの問い合わせや相談を受ける体制をどのように整えるか、具体的に記載して下さい。 |
| 緊急事態が生じた際の体制（300字程度） | ※本事業の実施において、（すでに上市している／直前段階の場合、製品・サービス提供時においても）緊急事態が生じた際の対応、体制や、その他、フェムテック等サポートサービスを提供する中で考えられるリスクがある場合、考えられるリスクと安全性を担保する対応策について記載して下さい。 |
| ①食品等体内に取り込む製品を活用するか　②侵襲性が高い製品を活用するか　（はい・いいえ） | ①（はい・いいえ）②（はい・いいえ）※①、②いずれか、いずれにも該当する場合は安全性が確保できていることを説明してください。説明の際、サイト情報等（ウェブリンク可）の活用も可とします。（200字程度）※②に該当する場合は、安全性の根拠資料を別添して提出してください。 |
| **２－４．発展性** |
| **２－４－１．波及性** |
| 他の地域・団体においても参考となりうる、波及性のあるモデルを提案している場合、波及性のポイントを説明してください。（300字程度） |  |
| フェムテックユーザー（女性等）本人のみでなく、パートナーや職場の同僚等周囲の関係者の意識・行動変容も視野に入れた活動計画の内容（300字程度） | ※計画がある場合のみ記載してください。 |
| **２－４－２．事業拡大** |
| 連携体制の拡大・強計画 | ※本事業終了後等に、連携体制の拡大・強化が図られる計画や、フェムテックユーザーや地域が拡大される計画がある場合、具体的な内容を記載してください。（300字程度） |
| 事業充実・発展等の見込み | ※本事業終了後等に、事業の充実・発展を見込んでいる場合、必要な事業費の確保状況なども含め具体的な内容を記載してください。（300字程度） |
| **２－４－３．持続性** |
| ※実証事業終了後も、最終目標の実現に向けて、コンソーシアムの参加団体や協力団体等との連携体制や事業結果・成果等を活用しながら、どのようにこの事業を発展させていくのか、また、どのようにユーザーや対象地域を拡大していくのかの構想を記載して下さい。（400字程度） |
| **２－５．その他** |
| **２－５－１．賃上げ表明** |
| ※下記いずれかに該当する場合はチェックを付けて下さい。

|  |
| --- |
|[ ]  『入札者の事業年度において、対前年度比で「給与等受給者一人当たりの平均受給額）」を大企業の場合は３％、中小企業の場合は１．５％以上増加させる旨を従業員に表明』した事業者 |
|[ ]  『暦年において、対前年比で「給与等受給者一人当たりの平均受給額」を大企業の場合は３％、中小企業の場合は１．５％以上増加させる旨を従業員に表明した』事業者 |

 |
| ２－５－２．ワークライフバランス等推進 |
| ※下記のいずれかに該当する場合はチェックを付けて下さい。

|  |
| --- |
|[ ]  えるぼし認定企業（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく認定） |
| [ ]  | プラチナえるぼし認定企業（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく認定） |
|[ ]  女性活躍推進法に基づく行動計画を策定し、専用サイト（女性の活躍推進企業データベース）で公表している企業（計画期間が満了していない行動計画を策定している場合のみ）※常時雇用する労働者の数が100人以下の事業主に限る。 |
| [ ]  | くるみん認定企業（次世代育成支援対策推進法（次世代法）に基づく認定） |
| [ ]  | トライくるみん認定企業（次世代育成支援対策推進法（次世代法）に基づく認定） |
| [ ]  | プラチナくるみん認定企業（次世代育成支援対策推進法（次世代法）に基づく認定） |
| [ ]  | 次世代育成支援対策推進法第12条に基づく行動計画を策定し、専用サイト（両立支援のひろば）で公表している企業（計画期間が満了していない行動計画を策定している場合のみ）※常時雇用する労働者の数が100人以下の事業主に限る。 |
|[ ]  青少年の雇用の促進に関する法律（若者雇用促進法）に基づく認定（ユースエール認定） |

 |

以上